

★お知らせ★4国ホームページで【ボーイ隊ブログ】が始まりました

キャンプ用マット

今回は、ボーイ隊上進・新入隊員歓迎キャンプで気になったネタである。それは、「マット」。キャンプの際に、地面の凹凸を吸収し、地面からの熱を防ぐために用いる。通称：銀マットの、アルミ（銀色）のロールマットは良く見かけるが、今回の新人2名は、父親が登山やアウトドア派らしく、「インフレーションマット」なるボーイ隊長やM隊長垂涎の優れものを装備しているではないか。まあ、この優れものは、ちょっと高価なので紹介だけにして、ごく一般的なアルミロールマットの正しい使い方を伝授することにする。みんなー！完全に使い方を間違っているぞー！Waiワイまつりの団委員によるフリマに、この銀マットを寒さ除けに敷いたが、みんな正しい使用法を知らなかったそうだ。

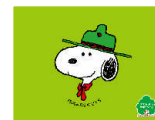


号外 M隊長新聞

魚沼産コシヒカリと牛久沼産シリヒカリの味比べは、シリヒカリの勝利！

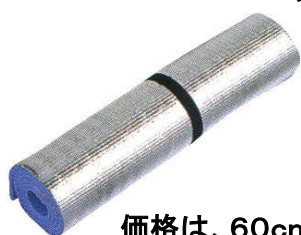


2009.11.10
通算第49号

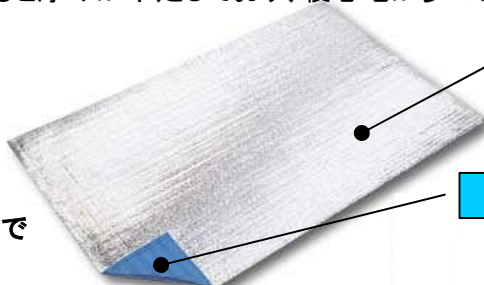


銀マット

あちこちで売っていて、とにかく価格が安くて丈夫。撤収時は、巻き取るだけで済むので楽ちん。だが、インフレーションマットに比べると厚みが不足しており、寝心地が少々悪くかさばる。



価格は、60cm×90cmで
1,000円弱



* M隊長は、トイアルで120×180を、500円ぐらいで購入して、60×90を4枚作った。

使用方法

片側にアルミが蒸着されている、このマットは銀を下にするのだ。その訳は、銀を貼っていない面を下にすると、下からの湿気を銀マットが吸ってしまい、断熱性が落ちてしまうのである。実は、キャンプでは、みんなが裏と思っていたほうが表なんだなー。これが！？プールで日焼けしたかったら銀を表で良いぞー。

サイズ

キャンプでは、装備品をコンパクトに納めるように心がける。基本的にはザック（大型のリックザック）と、ハバザックとし、両手は空けなければならない。そこでサイズは、自分の肩幅（市販品だと50・60cm）で、長さは頭から腰が乗るぐらい（1m弱）が理想である。これだとザックの横に取り付けられるサイズで、テントの中で他のスカウトと縄張り争いにならない。

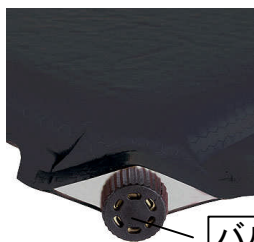
裏

正しい
使い方

銀が下

インフレーションマット

収納時はコンパクトで、使用時はロールマットより厚みが確保できるので、その分寝心地が良い。種類によってはとてもコンパクトになる価格が高く、穴が開くと応急処置が難しい。撤収時は中の空気を押し出す作業が必要で、少し面倒で、小学生スカウトは、袋に収納に苦戦していた。



価格は、5,000円前後



欲しい！でも、高い！

使用方法

バルブを開くとマット内の圧縮されたウレタンフォームが復元する時の力でマット内に空気が自動注入される。空気を吹き込めば更にクッション性がUP！するらしい。

カブ隊H副長は、カブスカウトの時に、母親から作ってもらった銀マット収納袋を愛用している。なかなか洒落ているではないか！欲しい！今度嫁に作ってもらおう。